

富津市立保育所自己評価書

(金谷保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和7年4月～令和8年2月

令和8年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連絡を密に取りながら子どもの健康状態の把握に努めている。 ・年2回の健康診断や嘱託医との連携を通して助言を受け、必要に応じた対応や環境改善につなげている。 ・園内の安全点検やヒヤリハットの共有を継続的に行い、事故防止への意識向上を計っている。 ・ゆったりとした生活の流れの中で、家庭的な保育を実践している。 ・一人ひとりの興味、関心に目を向け、思う存分取り組めるような環境を整えている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごさせている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感を育むことを目的に、全ての職員が一人ひとりと深く関わることで、どんな時も自分の存在を受け止めてもらい、見守られているという安心感が持てるようにしている。 ・異年齢保育を通して、様々な活動を一緒に経験することで、思いやりや憧れの気持ちが自然と育っている。 ・互いの子どもの思いを受け止めながら、保育士が仲立ちとなり、代弁していくことで、相手の気持ちに気付くことが出来るようになったり、自分で考えて行動できるようになったりした。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	A	
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然環境を活かし、思う存分自然体験を楽しむことで、様々な発見や不思議が生まれ、一緒に考えたり、調べたりすることで、遊びが深まっていき、行事にも繋がっていった。 ・生活や遊びを通して、子ども達から様々なことに気付けるよう、共感し
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	

	<p>日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。</p>	A	<p>たり、声かけを工夫したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年を通して野菜や果物の栽培をし、生長や収穫の喜びを知り、毎日欠かさず世話をすることの大切さも知った。 ・地域の方から稲苗を分けてもらい、プランターを使用して田んぼを作る。春の田植えから秋の稲刈り、脱穀、粃摺り、精米までの米作りを経験することで、いつも食べているお米がどのようにして作られるのかを知り、農業への理解や食べ物への感謝の気持ちが育った。 ・夏の磯遊びでは、様々な生き物を見つけるとは、図鑑で調べたり、観察したりすることを繰り返して楽しむことで、生命の神秘や不思議を直に感じることが出来た。磯遊びの経験が運動会や生活発表会の行事に繋がったり、水族館への遠足に繋がったりした。 ・一年を通じて鋸山登山を行い、四季折々の自然や、頂上から眺める景色の美しさに触れた。 ・保育士が最初から答えを示すのではなく自分なりに考えることを大事にしている。
言葉	<p>保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや要求を安心して表現できるよう、一人ひとりの発達や個性に合わせ応答的な関わりをし、全ての場面において肯定的に受け止めるよう心掛けている。 ・毎日、絵本の読み聞かせの時間を作り、絵本に触れる機会を多く取り入れている。子ども自ら「読んで!」と持ってくる絵本を膝の上で読み聞かせしたり、月に1度、読み聞かせボランティアさんによるお話を実施したりしている。 ・思いを汲み取りながら、その言葉の意味や場面に応じた使い方を保育士が代弁していき、正し
	<p>絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。</p>	A	
	<p>保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。</p>	A	
	<p>生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。</p>	A	

			い言葉の使い方や語彙力が高まるように関わった。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ諸感覚を使い楽しむ機会を作っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 紙、廃材、貝、シーグラス、流木、どんぐり、松ぼっくり等、様々な素材で室内で制作を楽しんだ。作った作品を文化祭に出展したり、友達へのプレゼントや卒園式のコサージュ等として活用した。 年間を通して、リズム遊びを行う。一年間の取り組みと成長を公開リズムを通して保護者に知ってもらおう機会を持った。 子ども達からの発案で、磯遊びの経験を創作劇にした。配役から台詞まで自分たちで考えて、生活発表会の場で、生き活きと表現する姿を保護者に見てもらおうことが出来た。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	<ul style="list-style-type: none"> 保育参加を実施し、金谷保育所の特色である磯遊びや鋸山登山と一緒に経験してもらい、日々の自然体験の様子を知ってもらえることができた。必要に応じて個人面談の実施もする。 送迎時には、保護者一人ひとりとお子さんの様子について密に連絡を取り合うようにしている。 保護者が安心して子育てが出来るよう、思いに寄り添い、必要があれば関係機関と連携し個別面談や療育支援等の対応をしている。 児童表や連絡帳を通し必要な情報については記録を残している。保護者からの質問や相談事にも丁寧に答えるよう努めている。 次年度、竹岡保育所との統合に向けて、保護者が安心して新年度を迎えられるよう、具体的な事務連絡等の情報共有を行いながら準備を進めている。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	

行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育カリキュラム、企画書の作成をし、計画や目標に沿った活動を実践している。 ・閉所前、最後の行事を思い出に残るイベントにすべく、子ども達のアイデアを取り入れながら、保護者も一緒に楽しめる行事を企画した。 ・行事終了後には必ず反省会を開き、一人ひとりが取り組みについての振り返りを行うことで、次へのより良い行事へと繋がるようにしている。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	A	
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の状況や子どもの発達等に関する個人情報は、守秘義務を徹底している。また、個人情報が記録された書類等は決められた場所に保管し、園内で保管することを徹底している。 ・最低月1回保育士で園内研修を行う。(内容については、感染症対策について・災害発生時の対応について・発達支援関係・わらべうた・各職員が受講した研修の振り返り等)
	園内研修を実施している。	A	
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	A	